

第2章

評価結果(2013年度)の概要

2.1	2013年度 ODA 評価の概要	10
2.2	外務省による評価	12
	国別評価	
	●ラオス国別評価	
	●スリランカ国別評価	
	●コロンビア国別評価	
	重点課題別評価	
	●防災協力イニシアティブの評価	
	スキーム別評価	
	●貧困削減戦略支援無償の評価	
	セクター別評価	
	●ベトナム都市交通セクターへの支援の評価	
	その他の評価	
	●アフリカン・ミレニアム・ビレッジ・イニシアティブへの支援の評価	
	●開発人材育成及び開発教育支援の評価	
	事後状況調査	
	●文化無償資金協力のフォローアップ調査	
	●日本 NGO 連携無償資金協力案件の事後状況調査	
	政策評価法に基づく評価	
2.3	各省庁による評価	33
	●各省庁による 2013 年度 ODA 評価実績一覧	
	●案件概要	
	金融庁 / 総務省 / 法務省 / 財務省 / 文部科学省 / 厚生労働省 / 農林水産省 /	
	経済産業省 / 国土交通省 / 環境省	
2.4	国際協力機構 (JICA) による事業評価	44
2.5	被援助国政府・機関等による評価	46
	●ベトナムの保健医療分野における日本の ODA 評価	
	コラム	
	◆評価結果から抽出された教訓～平成 25 年度 ODA 評価より～	48

2.1 2013年度 ODA 評価の概要

第2章では、主に2013年度に外務省、国内省庁、JICA等がそれぞれ実施したODA評価の概要を紹介します。

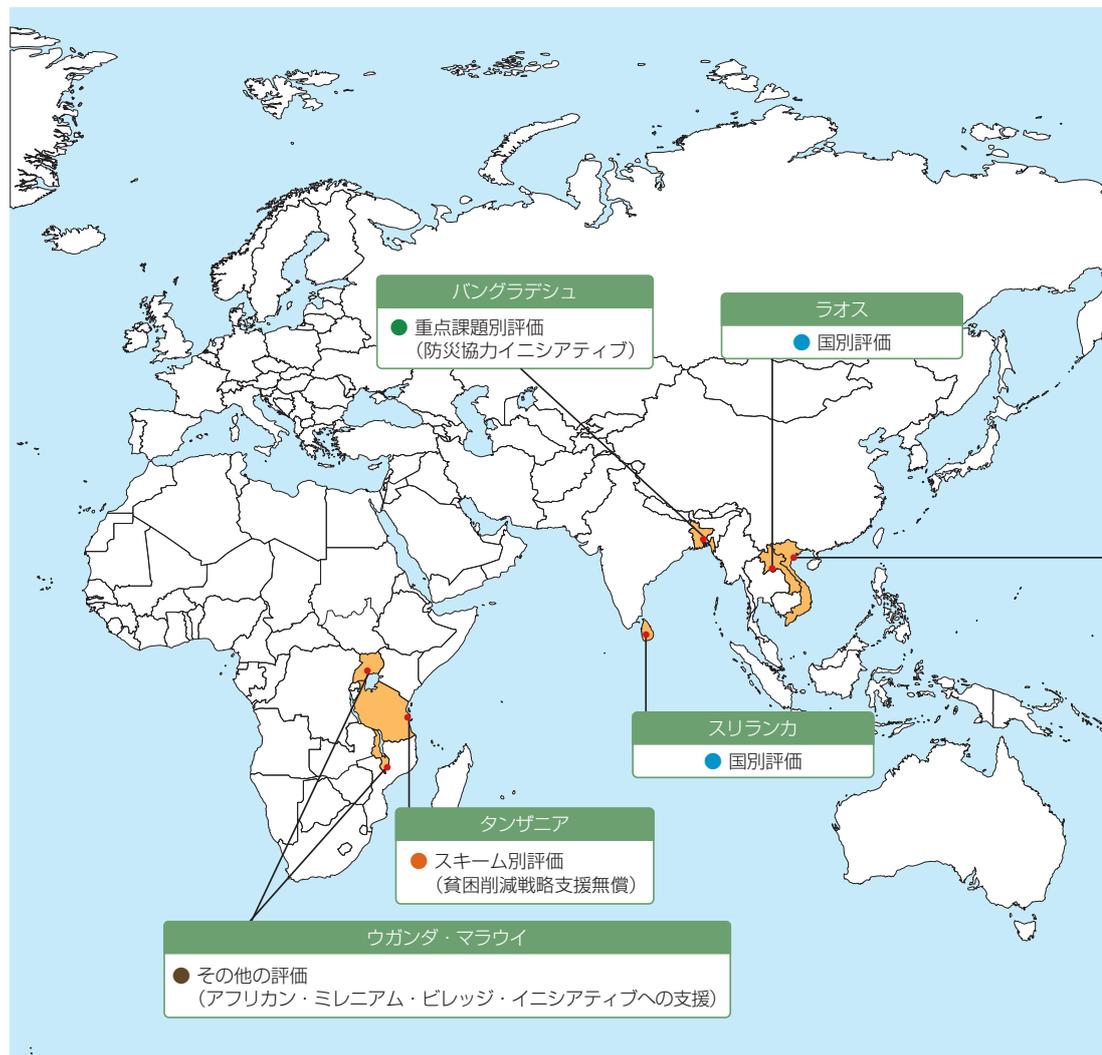
外務省による評価

外務省は2013年度に、外部の評価者に委託して行う第三者評価を8件実施しました。本章では、これらの評価の概要を掲載するとともに、評価から得られた提言に対する外務省の対応策の例(2014年7月に策定)も記載しました。

これらの評価結果からは、「日本の対ラオス援助政策は、ラオスの開発政策を十分に反映して作成されており、ラオス政府の開発政策(開発ニーズ)との整合性は非常に高いことがわかった」(ラオス国別評価の例)など、日本の援助方針や相手国・国際社会のニーズとの整合性があり、政策の妥当性や結果の有効性が認められたことが示されました。他方で、「AMVへの支援は国際機関を通じて行われたため、日本は直接的に事業の進捗を管理・監督する立場にはなかったが、監督ラインの外からでも事業の成果を積極的にフォローし、十分なフィードバックを求める働きかけを行う必要があった」(アフリカン・ミレニアム・ビレッジ・イニシアティブ(AMV)への支援の評価の例)など、改善すべき点も指摘されました。なお、それぞれの評価報告書の全文は、外務省のODAホームページで御覧いただけます。

また、外務省が独自に行った無償資金協力案件の事後状況調査2件と、政策評価法に基づいて行った自己評価案件についても紹介します。

- 国別評価(3件): ラオス, スリランカ, コロンビア
- 重点課題別評価(1件): 防災協力イニシアティブ
- スキーム別評価(1件): 貧困削減戦略支援無償
- セクター別評価(1件): ベトナム都市交通セクターへの支援
- その他の評価(2件): アフリカン・ミレニアム・ビレッジ・イニシアティブへの支援, 開発人材育成及び開発教育支援



各省庁による評価

国内各省庁は ODA 関連の政策等を、主に政策評価法に基づいて自己評価しています。本章では、2013 年度に各省庁が実施した評価案件についてリストを掲載するとともに、この一部について、概要を掲載しています。

JICA による事業評価

本章では、JICA が実施する事業評価の概要を紹介しています。JICA による個別評価結果の詳細は、JICA のホームページで御覧いただけます。

被援助国政府・機関等による評価

外務省は 2013 年度にベトナムのコンサルタントに対し、日本の援助プログラムに関する評価を依頼しました。本章ではこの評価の概要を掲載しています。

- セクター別評価：ベトナムの保健医療分野における日本の ODA 評価

